使用教材及び受講生負担一覧表

１　使用教材一覧

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教　材　名  (テキスト名等) | 出版社・販売者 | 使用科目 | 定　価 | 備　考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 教材費の計(税込) | － | － | 円 | － |

(注)１　訓練で使用する教材(テキスト等)は全て記載してください。（教材が無償の場合、「定価」欄は０円としてください。）

市販されていない教材等が有償の場合は、ページ数や概要を記載し、訓練に相応しい内容で適切な価格であることをわかるようにしてください。

２　独創的な教材や内容に工夫等がある教材については、有償・無償に関わらず記載し、その特徴等を備考欄に記載ください。

３　あらかじめ作成・配布が計画され、カリキュラムの中で位置づけられている教材が対象です。講師が不規則に適宜作成するような資料は原則対象外ですが、あらかじめ教材としてカリキュラムで位置づけている場合(例:試験問題の傾向分析と解説、面接対策用の話題<実例・時事情報と解説等>)は、記載ください。

４　複数のカリキュラムを提案する場合で、カリキュラム（科）ごとに使用教材が異なる場合は、カリキュラム（科）ごとに本様式を作成してください。

２　受講生負担一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 定価 | 受講生の負担額を減らす工夫 | 受講生負担額 |
| テキスト代 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計(税込) | 円 |  | 円 |

※　項目は適宜追加してください。

合計額は、受講生負担額の限度額(税込２０，０００円)以内となる必要があります。

訓練で必須となる負担額を全て記載してください。（健康診断等が必須であれば負担額に含めること）

ｅラーニングを受講する上で必要となる設備・通信費は含みません。

※　複数カリキュラムを提案する場合で、カリキュラム（科）ごとに受講生負担額が異なる場合は、カリキュラム（科）ごとに本様式を作成してください。